

北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」  
令和6年度（2024年度）授業等改善セミナー

# 特別支援教育 実施報告



今年度から新たに特別支援教育の授業等改善セミナーを設け、令和6年9月27日（金）、札幌琴似工業高校を会場に「高等学校における『特別支援教育』の充実に向けて」をテーマとして開催しました。オンライン参加も含めて、全道から32名の先生方の参加がありました。

本講座の実施状況等を紹介しますので、各学校で特別支援教育を推進する際の参考として御活用願います。

## 実施状況

### 【行政説明】

はじめに、高校教育課の鎌田康平主査が、「高等学校における『特別支援教育』の充実に向けて」と題して、合理的配慮の決定プロセス、「個別の指導計画」の作成・活用、高等学校における通級による指導、病気療養中等の生徒に対する教育保障について説明しました。

合理的配慮の内容は、保護者・本人と学校とが、建設的な話し合いによって決めることが大切であり、学校が合理的配慮の内容を一方向的に提示し、決定することは不適切であることを強調しました。さらに、各学校に対して、合理的配慮の決定プロセスを点検するように求めました。



### 【実践発表】北海道札幌琴似工業高等学校 渡邊 典代 教諭

〔発表題〕札幌琴似工業高校定時制課程における全ての生徒の発達を支える教育活動  
道教委が特別支援教育スペシャリストに認定した、札幌琴似工業高校の渡邊典代教諭が、本校に赴任してから現在まで進めてきた取組について紹介してくださいました。

特別活動等に位置付けて、通常の学級に在籍する生徒と、特別な教育的支援を必要とする生徒がともに学ぶ学校全体支援体制「琴定 WORK—WORK 計画」は、4つの力（人間関係を形成する力、コミュニケーション能力を育む力、悩みや気持ちの変化に気付く力、自らの困りごとを相談できる力）の育成を目指しています。この計画は、令和6年度「教育課程・編成実施の手引（特別支援教育）」にも好事例として紹介しています。



〔二次元コード〕

[説明資料](#)



[実践発表資料](#)



[教育課程編成実施の手引（特別支援教育）](#)



## 【研究協議】「地域の人材・資源を取り入れてみよう！」

実践発表に続いて、渡邊典代教諭のファシリテートで、「地域の人材・資源を取り入れてみよう！」を協議テーマに研究協議を行いました。札幌琴似工業高校が連携している外部人材リストを参考にしながら、自校の外部人材活用計画を立案しました。



## セミナー参加者の声

### 【参加者の声】

- 私自身、通級についての理解が足りないということが分かりました。本校は特別な教育的支援が必要な生徒が多数在籍しているのに、教科担任やクラス担任単位で対応していたので、組織的に動きたいと思いました。
- 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応策は、他の生徒にとっても分かりやすいものだと思います。教員の特別支援教育に対する理解が不十分なので、校内の重要な問題として、対応できる環境を整えていきたいと思いました。
- 理論的な説明から実践事例の紹介、研究協議による他校の実態と取組の共有など、大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。今後もこのような場の提供をぜひお願いします。
- 渡邊先生の取組が本当に素晴らしいと思いました。実践発表を参考にしながら、コミュニケーション学習や他機関との連携など、本校で取り組めそうなことを進めていきたいです。

### 【アンケートの結果（一部）】

- 1 今回の行政説明、実践発表、研究協議において、特別支援教育に関する理解は深まりましたか。  
大いに深まった 46.4%                      深まった 50.0%
- 2 今回のセミナーで紹介した行政説明、実践発表、研究協議の内容等は、あなたの学校の特別支援教育の推進において活用できますか。  
大いに活用できる 32.1%                      活用できる 53.6%
- 3 今回のセミナーは、あなたの学校の特別支援教育の推進に役立ちますか。  
大いに役立つ 39.4%                      役立つ 53.6%
- 4 今後、特別支援教育の推進に取り組めますか。  
すでに取り組んでいる 46.4%                      取り組む予定 53.6%